

食育だよい!

令和7年(2025年)

6月



1・2年生 ねんせい さやむき体験 たいけん

はちおうじしりつ
八王子市立

まつえ 松枝

しょうがっこく 小学校

5月16日に2年生がグリンピース、5月30日に1年生がそら豆のさやむき体験を行いました。たくさんありがとうございましたが、最後までがんばっていました。さやの中を触ってみたり、匂いをかいだり、楽しそうに体験をしていました。2年生はグリンピースの特徴を観察して、さやに入っている豆の数を数えたり絵や感想も書きました。1年生はそら豆のクイズをして、そら豆について学ぶことができました。1.2時間目を使ってさやむきしたものは、当日の給食でおいしくいただきました。苦手だった子も自分でむいたものを味わって食べていました。



グリンピースごはん



100年ねん フード たし を 食べて 知ろう !



100年フードとは、地域の食文化を、未来に向けて100年続けていくことを目指した、文化庁の取組です。
現在、全国で300件の食文化が認められており、「桑都・八王子のふるさと料理」は令和6年3月に認定されました！

未来の100年フード部門～自指せ100年～ 12日にいただきます。

ゆのすの恵み料理



こうちけん
高知県



こうちけん しこくちほう なんぶ いち
高知県は四国地方の南部に位置

しています。

おんだんたしつ きこう ふくざつ ちけい たいふう
温暖多湿な気候、複雑な地形、台風
の上陸が多いことが特徴です。
ゆずの栽培が盛んで、生産量は全
こく い 国1位を誇ります。

こうちけん かみし
高知県香美市では、多くの料理に柚子が使
われています。例えば、昔から高知県で食べら
れている田舎寿司のすし飯、鍋の出汁、デザ
ートなど使い道はさまざまです。ゆずを皮ごと
絞ったものを「ゆのす」と呼び、大切に使っ
ています。

12日の給食では、
「ゆのす香るねぎ塩チキン」
をいただきます。



おだわらし めいさん
小田原市の名産
しもなか 下中たまねぎ
をいただきます！

しもなか しまいとし
下中たまねぎは、姉妹都市である小田原市の名産で
す。こだわりの有機肥料と海の風、暖かい気温により、
やわらかくあまいたまねぎが育ちます。昨年に引き続
き、今年度も給食で下中たまねぎを味わいます。



**世界を変えるために生まれてきた
ボクシング佐々木尽選手の挑戦**

世界ウェルター級タイトルマッチへの挑戦が決定した佐々木尽選手は、八王子市立別所小・中学校出身のプロボクサーです。佐々木選手が好きだったマーボー豆腐を食べて、みんなで応援しよう！

2025年6月19日(木)開催
WBO 世界ウェルター級タイトルマッチ
会場:大田区総合体育館

6月は食育月間 ~ 家庭ができる！食育 ~

子どもとふれあいながら 食事のマナーをみなおそう！

『はし』を上手に使えると、魚の骨をきれいに取り除けたり、豆などの小さいものをつまめたりなどの細かい動きもできるようになります。ご家族で「はしの持ち方、使い方」をチェックしてみませんか。

11 和食文化を伝えよう

正しいはしの持ち方

(1)のはし

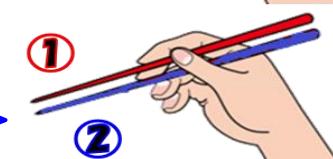
えんぴつを持つように親指、人差し指、中指で持ちます。



①のはしを人差し指と中指で
はさみ、上下に動かします。

(2)のはし

①のはしの下に入れ、
薬指でささえます。

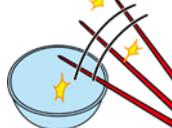


とりのくちばしのように
あけたりとじたり
できているかな？



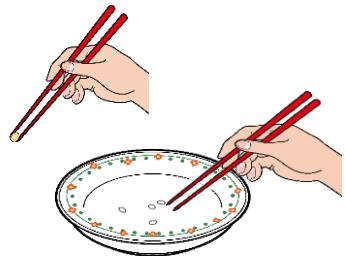
使い方のマナーに気を付けよう

「さしばし」や「たたきばし」など、
やってはいけないはしの使い方があり
ます。周りの人も気持ちよく
食事ができるように
気を付けましょう。



16日～20日は、おはし名人になろう！ウィーク

16日…米を集める
17日…魚を切りさく
18日…麺をはさむ
19日…大豆をつまむ
20日…魚のほねをとる



--- 食と健康コラム *---*

6/4～10は、「歯と口の健康週間」です。噛むことは、私たちの体にさまざまな良い効果をもたらします。給食では、多様な食材を取り入れ、料理の組合せや調理法によって切り方を変えるなど、噛む回数が増えるような工夫をしています。小学生は噛む力が育つ大切な時期です。噛む習慣を身につけ、健康で楽しい生活を送りましょう。



テーマ：よく噛む習慣を身につけよう

▶よく噛むといいことがいっぱい！

あたま
頭とおなかの
スイッチオン
ぱよぼう
むし歯予防

ことば
言葉がはっきり
びょうき
病気に負けない体
からだ



ぜんかい
パワー全開



いろいろな
あじ
たの
味を楽しめる

いつもの料理に、「噛み応えのある食材をプラスする」、「食材を大きく切る」などのちょっとした工夫で、噛む回数を増やすことができます。また、お子さまへの声かけやテレビを消すなど、食事に集中できる環境を作ることも大切です！